

災害体験VR導入業務委託 仕様書（案）

目的

本業務は、バーチャルリアリティー映像（VR）の技術を活かし、地震や風水害等の自然災害を疑似体験することで市民の防災意識の向上を図るとともに、災害発生時における適切な避難行動や日頃からの備えの重要性を理解する機会を提供するため、ヘッドマウントディスプレイ（以下「VR ゴーグル」という）及びコンテンツを導入する。

活用イメージ

市が主催する防災訓練、出前講座、防災イベントでの活用、及び地域が主催する防災訓練やセミナー、ワークショップ等において貸出を行う。

委託期間

契約締結の日から令和9年3月31日

業務内容

- (1) 災害体験VR用ヘッドマウントディスプレイ一式の納品
- (2) 災害体験VRコンテンツの作成、提供および初期設定
- (3) 機器一式の初期設定、動作確認
- (4) 納品時の操作説明および取扱説明書の納品

※令和8年10月31日に使用できる状態で納品すること。

VRゴーグル仕様

- (1) 単体でVRコンテンツを再生できるスタンドアロン型VRゴーグルであること。
- (2) オフラインでのコンテンツ再生が可能であること。
- (3) VRゴーグル装着者以外も、装着者が体験している内容が分かるような工夫を施すこと。
- (4) 納品後のコンテンツの追加・削除・更新については、発注者または第三者が一般的な方法（USB接続、Wi-Fi経由のアプリインストール等）により実施可能であり、特定事業者でなければ実施できない制約がないこと。
- (5) 機器の管理者権限は発注者が保持し、必要なアカウント情報・設定情報はすべて開示されること。
- (6) 外部アプリケーションのインストールを制限する設定（ロック、MDM制御等）が施されていないこと。

- (7) 市販され、継続的に調達可能な機種であること。
- (8) 満充電の状態です3時間以上の連続使用が可能であること。

ソフトウェア仕様

- (1) 共通要件
 - ・ 防災啓発を目的とした災害疑似体験専用VRコンテンツであること。
 - ・ フルCGまたは360度映像で、災害状況を再現していること。
 - ・ 幅広い年齢層の市民が、災害を自分事としてとらえやすい映像とすること。
 - ・ 1コンテンツあたりの体験時間は1分程度とする。
 - ・ 利用者による操作を極力不要とした再生方式であること。また、複数コンテンツを一覧表示し、任意に選択できる機能を有すること。
 - ・ 本業務で提供されるVRコンテンツは買い切り型ライセンスとし、納入するVRゴーグルにおいて継続的に利用可能であること。
 - ・ 機器の故障または更新によりVRゴーグルを交換する場合においては、ライセンスの移行または再設定が可能であること。
- (2) 必須コンテンツ
 - ① 地震体験VR
 - ・ 市民の約8割が共同住宅居住者であるため、マンションで地震に遭遇する状況を再現した映像とすること。
 - ・ 家具の固定や停電対策など、備えの重要性が感じられる映像とすること。
 - ② 風水害体験VR
 - ・ 降雨により水位が上昇し避難判断が遅れる危険性を体感できる内容とすること。
 - ③ 土砂災害体験VR
 - ・ 豪雨時における土砂災害の突発性と危険性を示す内容とすること。
 - ・ 土砂災害が発生する予兆現象から実災害へ遭遇する状況を再現すること。

調達内容

- (1) VRゴーグル：10台
- (2) 災害体験VRソフトウェア（アプリケーション）：一式
- (3) 充電関連備品：10セット
- (4) 取扱説明書：10セット
- (5) コンテンツ追加・削除手順書
- (6) 体験コンテンツを第三者が閲覧できる動画データ（mp4形式、CD-Rに格納）：10枚
- (7) 機器設定情報一覧（アカウント含む）
- (8) イベント等での使用を想定した周知パネル（A0サイズ程度）：1枚
- (9) VRゴーグル用使い捨て保護マスク：1,000枚

(10) その他VRコンテンツ体験に必要なもの

保守・サポート

- (1) 自然消耗を対象外とした6か月以上の動作保証があること。
- (2) 問い合わせ対応体制を有すること。